

「ミャンマーにおける日系企業の進出目的及び実態に関する調査」調査結果

ポスト・ドクター（専修大学商学部兼任講師） 新島 裕基

1. 調査の目的と方法

本アンケート調査は、ミャンマーの現地企業と日系企業を対象に、経営課題等を明らかにすることを目的に実施したものである。

調査の方法は、アンケート調査票を調査先の担当者にインターネットや手渡しなどを通じて配布し、30社から回答を得られた。

2. 調査結果

（1）回答企業の概要

① 業種分類

業種に対する回答で最も多いのは製造業で、全体の約80.0%を占めている。

表1 業種分類

選択肢	回答数	比率 (%)
製造業	24	80.0%
その他	2	6.7%
無回答	4	13.3%
合計	30	100.0%

② 設立年

設立年に対する回答で最も多いのは、1997年と2014年でそれぞれ全体の約10.0%を占め、次に多いのは、1996年、1999年と2006年で、それぞれ全体の約6.7%を占めている。

表2 設立年

設立年	1990年	1992年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年
回答数	1	1	1	2	3	1	2
比率 (%)	3.3%	3.3%	3.3%	6.7%	10.0%	3.3%	6.7%
設立年	2000年	2001年	2003年	2006年	2007年	2008年	2011年
回答数	1	1	1	2	1	1	1
比率 (%)	3.3%	3.3%	3.3%	6.7%	3.3%	3.3%	3.3%
設立年	2012年	2013年	2014年	2015年	無回答	計	
回答数	1	1	3	1	5	30	
比率 (%)	3.3%	3.3%	10.0%	3.3%	16.7%	100.0%	

③年間売上高

年間売上高に対する回答で最も多いのは、1,000,000 \$ 以上で全体の約 30.0% を占めている。次に多いのは 300,000 ～ 500,000 \$ 未満で全体の約 20.0% を占めている。

表 3 年間売上高

年間売上高	回答数	割合
100,000 \$ 未満	5	16.7%
100,000 ～ 300,000 \$ 未満	3	10.0%
300,000 ～ 500,000 \$ 未満	6	20.0%
500,000 ～ 1,000,000 \$ 未満	1	3.3%
1,000,000 \$ 以上	9	30.0%
無回答	6	20.0%
合計	30	100.0%

④正社員数

正社員数に対する回答で最も多いのは、1 人～ 50 人で全体の約 26.7% を占め、次に多いのは、51 人～ 200 人で全体の約 16.7% を占めている。

表 4 正社員数

選択肢	回答数	比率 (%)
1 人～ 50 人	8	26.7%
51 人～ 200 人	5	16.7%
201 人以上	1	3.3%
無回答	16	53.3%
合計	30	100.0%

⑤主な輸出国

主な輸出国で最も多い回答は、ミャンマー国内で全体の約 14.6% を占め、次に多いのは、ミャンマーおよび上記以外の ASEAN 諸国で、それぞれ全体の約 7.3% を占めている。

表 5 主な輸出国（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
タイ	3	7.3%
ミャンマー（国内）	6	14.6%
カンボジア	1	2.4%
ベトナム	2	4.9%
ラオス	1	2.4%
上記以外の ASEAN 諸国	3	7.3%
日本	2	4.9%
中国	1	2.4%
台湾	2	4.9%
エジプト	1	2.4%
インド	1	2.4%
アメリカ	1	2.4%
無回答	17	41.5%
合計	41	100.0%

⑥主な輸出先での主な販売先

主な輸出先での主な販売先で最も多い回答は、ミャンマーローカル企業で全体の約 33.3% を占め、次に多いのは、非日系外資系企業で全体の約 23.3% を占めている。

表 6 主な輸出先での主な販売先（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
日系系列企業	0	0.0%
非日系外資系企業	7	23.3%
ミャンマーローカル企業	10	33.3%
日系非系列企業	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	30	43.3%
合計	47	100.0%

⑦主な輸入国

主な輸入国で最も多い回答は、タイで全体の約 30.2% を占め、次に多いのは、上記以外の ASEAN 諸国で全体の約 20.9% を占めている。

表 7 主な輸入国（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
タイ	13	30.2%
ミャンマー（国内）	3	7.0%
カンボジア	0	0.0%
ベトナム	1	2.3%
ラオス	0	0.0%
上記以外の ASEAN 諸国	9	20.9%
日本	8	18.6%
中国	1	2.3%
ベルギー	1	2.3%
ドイツ	1	2.3%
マカオ	1	2.3%
無回答	5	11.6%
合計	43	100.0%

⑧主な輸入国での主な調達先

主な輸入国での主な調達先で最も多い回答は、ミャンマーローカル企業で全体の約 33.3% を占め、次に多いのは、現地非系列企業で全体の約 23.3% を占めている。

表 8 主な輸入国での主な調達先（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
日系系列企業	3	10.0%
非日系外資系企業	6	20.0%
ミャンマーローカル企業	10	33.3%
日系非系列企業	0	0.0%
現地非系列企業	7	23.3%
その他	2	6.7%
無回答	2	6.7%
合計	30	100.0%

（2）設問 1. ミャンマー進出を決定する決め手となったもの

ミャンマー進出を決定する決め手となった理由で最も多い回答は、「良い現地パートナーが獲得できたから」で全体の約 44.1% を占めている。次に多いのは、「支援機関や商社からの支援があったから」で、全体の約 26.5% を占めている。

表 9 設問 1 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
親会社からの勧誘・支援があったから	4	11.8%
取引先からの要請・支援があったから	6	17.6%
良い現地パートナーが獲得できたから	15	44.1%
支援機関や商社からの支援があったから	9	26.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	34	100.0%

(3) 設問2. 生産場所

生産場所で最も多い回答は、「工業団地以外の工場で製造」で全体の約 35.3% を占めている。次に多いのは、「ミャンマーローカル資本系工業団地内レンタル工場で製造」で、全体の約 29.4% を占めている。

表 10 設問2の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
日系工業団地内レンタル工場で製造	1	2.9%
ミャンマーローカル資本系工業団地内レンタル工場で製造	10	29.4%
非日系外資の工業団地レンタル工場で製造	2	5.9%
工業団地以外のレンタル工場で製造	1	2.9%
日系工業団地内の工場で製造	2	5.9%
ミャンマーローカル資本系工業団地内の工場で製造	4	11.8%
非日系外資の工業団地内の工場で製造	2	5.9%
工業団地以外の工場で製造	12	35.3%
無回答	0	0.0%
合計	34	100.0%

(4) 設問3. 販売先

販売先で最も多い回答は、「ミャンマーローカル生産法人が同時に販売も行っている」で全体の約 32.4% を占めている。次に多いのは、「独自の現地販売法人を設立して実施している」および「ミャンマーローカル系の商社や販売会社に委託している」で、それぞれ全体の約 23.5% を占めている。

表 11 設問3の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
ミャンマーローカル生産法人が同時に販売も行っている	11	32.4%
独自の現地販売法人を設立して実施している	8	23.5%
日系の商社や販売会社に委託して販売している	1	2.9%
ミャンマーローカル系の商社や販売会社に委託している	8	23.5%
製品は全て輸出しており、現地市場への販売はない	5	14.7%
その他	1	2.9%
無回答	0	0.0%
合計	34	100.0%

(5) 設問4. ミャンマーでの操業における重要項目

ミャンマーでの操業における重要項目で最も多い回答は、「製造コスト削減」で全体の約 26.8% を占めている。次に多いのは、「ミャンマーローカル市場の開拓・拡大」で、全体の約 25.6% を占めている。

表 12 設問4の回答結果（3項目まで回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
製造コスト削減	22	26.8%
流通コスト削減	16	19.5%
納品リードタイム削減	6	7.3%
ミャンマーローカル市場の開拓・拡大	21	25.6%
取引先への部品等の供給	8	9.8%
日本への輸出	1	1.2%
第三国への輸出	7	8.5%
その他	1	1.2%
無回答	0	0.0%
合計	82	100.0

注：4項目まで選択した回答がある。

(6) 設問5. ミャンマーでの経営課題の重要性

① 展開目的を明確にすること

ミャンマーでの経営課題のうち、展開目的の明確化で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 50.0% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で、全体の約 43.3% を占め、これら 2 つで全体の約 93.3% を占めている。

② 展開に向けての資金調達

ミャンマーでの経営課題のうち、資金調達で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 73.3% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で全体の約 23.3% を占め、これら 2 つで全体の約 96.6% を占めている。

③ 良きパートナーや人脈を得ること

ミャンマーでの経営課題のうち、良きパートナーや人脈を得ることで最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 36.7% を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で全体の約 33.3% を占めている。その次に多いのは、「あまり重要ではない」で全体の約 26.7% を占めている。なお、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の 2 つで全体の約 63.4% を占めている。

④ 人材の確保・育成

ミャンマーでの経営課題のうち、人材の確保・育成で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 60.0 % を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で全体の約 26.7% を占め、これら 2 つで全体の約 86.7% を占めている。

表 13 設問5①の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	2	6.7%
あまり重要ではない	13	43.3%
重要ではない	15	50.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 14 設問5②の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	1	3.3%
あまり重要ではない	7	23.3%
重要ではない	22	73.3%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 15 設問5③の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	10	33.3%
あまり重要ではない	8	26.7%
重要ではない	11	36.7%
無回答	1	3.3%
合計	30	100.0%

表 16 設問5④の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	4	13.3%
あまり重要ではない	8	26.7%
重要ではない	18	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑤ 日本と本社と現地製造拠点とのコミュニケーション

ミャンマーでの経営課題のうち、日本と本社と現地製造拠点とのコミュニケーションで最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約 56.7% を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で全体の約 30.0% を占めている。その次に多いのは、「重要ではない」で全体の約 10.0% を占めている。なお、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の 2 つで全体の約 66.7% を占めている。

表 17 設問 5 ⑤の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	1	3.3%
どちらともいえない	9	30.0%
あまり重要ではない	17	56.7%
重要ではない	3	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑥ 賃金コスト上昇への対応

ミャンマーでの経営課題のうち、賃金コスト上昇への対応で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約 50.0% を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で、全体の約 30.0% を占めている。その次に多いのは、「やや重要である」および「重要ではない」でそれぞれ全体の約 10.0% を占めている。なお、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の 2 つで全体の約 60.0% を占めている。

表 18 設問 5 ⑥の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	3	10.0%
どちらともいえない	9	30.0%
あまり重要ではない	15	50.0%
重要ではない	3	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑦ 物流コスト上昇への対応

ミャンマーでの経営課題のうち、物流コスト上昇への対応で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約 46.7% を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で全体の約 23.3% を占めている。その次に多いのは、「重要でない」で全体の約 20.0% を占めている。なお、「あまり重要でない」と「重要でない」の 2 つで全体の約 66.7% を占めている。

表 19 設問 5 ⑦の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	3	10.0%
どちらともいえない	7	23.3%
あまり重要ではない	14	46.7%
重要ではない	6	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑧ ミャンマーでの販売先の拡大

ミャンマーでの経営課題のうち、ミャンマー国内での販売先の拡大で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約 53.3% を占めている。次に多いのは「重要ではない」で全体の約 33.3% を占め、これら 2 つで全体の約 86.6% を占めている。

表 20 設問 5 ⑧の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	4	13.3%
あまり重要ではない	16	53.3%
重要ではない	10	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑨ 原材料などの調達先の確保

ミャンマーでの経営課題のうち、原材料などの調達先の確保で最も多い回答は、「あまり重要ではない」および「重要ではない」で、それぞれ全体の約43.3%を占めている。これら2つで全体の約86.6%を占めている。

⑩ 品質管理

ミャンマーでの経営課題のうち、品質管理で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約66.7%を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で全体の約33.3%を占め、これら2つで100%を占めている。

⑪ 代金の回収

ミャンマーでの経営課題のうち、代金の回収で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約63.3%を占めている。次に多いのは「重要ではない」で全体の約26.7%を占め、これら2つで全体の約90.0%を占めている。

⑫ 知識やノウハウなど知的財産保護

ミャンマーでの経営課題のうち、知識やノウハウなど知的財産保護で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約53.3%を占めている。次に多いのは「重要ではない」で全体の約30.0%。これら2つで全体の約83.3%を占めている。

⑬ 工業団地の立地場所

ミャンマーでの経営課題のうち、工業団地の立地場所で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約40.0%を占めている。次に多いのは「重要ではない」で全体の約26.7%。これら2つで全体の約66.7%を占めている。

表 21 設問 5 ⑨の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	1	3.3%
どちらともいえない	3	10.0%
あまり重要ではない	13	43.3%
重要ではない	13	43.3%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 22 設問 5 ⑩の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
あまり重要ではない	10	33.3%
重要ではない	20	66.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 23 設問 5 ⑪の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	1	3.3%
どちらともいえない	2	6.7%
あまり重要ではない	19	63.3%
重要ではない	8	26.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 24 設問 5 ⑫の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	2	6.7%
どちらともいえない	3	10.0%
あまり重要ではない	16	53.3%
重要ではない	9	30.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

表 25 設問 5 ⑬の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	3	10.0%
どちらともいえない	7	23.3%
あまり重要ではない	12	40.0%
重要ではない	8	26.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑭ インフラ整備状況

ミャンマーでの経営課題のうち、インフラ整備状況で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 56.7% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で、全体の約 26.7% これら 2 つで全体の約 83.4% を占めている。

表 26 設問 5 ⑭の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	1	3.3%
どちらともいえない	4	13.3%
あまり重要ではない	8	26.7%
重要ではない	17	56.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑮ ミャンマーの国内輸送体制

ミャンマーでの経営課題のうち、ミャンマーの国内輸送体制で最も多い回答は、「あまり重要ではない」で全体の約 46.7% を占めている。次に多いのは「重要ではない」で、全体の約 40.0% これら 2 つで全体の約 86.7% を占めている。

表 27 設問 5 ⑮の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	3	10.0%
あまり重要ではない	14	46.7%
重要ではない	12	40.0%
無回答	1	3.3%
合計	30	100.0%

⑯ 輸出入・通関手続き

ミャンマーでの経営課題のうち、輸出入・通関手続きで最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 60.0% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で全体の約 23.3% を占め、これら 2 つで全体の約 83.3% を占めている。

表 28 設問 5 ⑯の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	5	16.7%
あまり重要ではない	7	23.3%
重要ではない	18	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

⑰ ミャンマーの規制や制度への対応

ミャンマーでの経営課題のうち、ミャンマーの規制や制度への対応で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 46.7% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で、全体の約 40.0% を占め、これら 2 つで全体の約 86.7% を占めている。

表 29 設問 5 ⑰の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	3	10.0%
あまり重要ではない	12	40.0%
重要ではない	14	46.7%
無回答	1	3.3%
合計	30	100.0%

⑱ 外資企業に対するミャンマー政府の方針

ミャンマーでの経営課題のうち、外資企業に対するミャンマー政府の方針で最も多い回答は、「重要ではない」で全体の約 76.7% を占めている。次に多いのは「あまり重要ではない」で、全体の約 23.3% を占め、これら 2 つで 100% を占めている。

表 30 設問 5 ⑱の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	0	0.0%
やや重要である	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
あまり重要ではない	7	23.3%
重要ではない	23	76.7%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

(7) 設問6. ミャンマーでの経営リスクの影響度

ミャンマーでの経営リスクの影響度の1位で最も多い回答は、「外資企業に対するミャンマー政府の方針」で全体の約30.0%を占め、次に多いのは「展開目的を明確にすること」、「展開に向けての資金調達」および「人材の確保・育成」で、それぞれ全体の約10.0%を占めている。2位で最も多い回答は、「原材料などの調達先の確保」で全体の約13.3%を占め、次に多いのは「展開に向けての資金調達」「人材の確保・育成」および「ミャンマーの規制や制度への対応」で、それぞれ全体の約10.0%を占めている。3位で最も多い回答は、「外資企業に対するミャンマー政府の方針」で全体の約13.3%を占め、次に多いのは「展開に向けての資金調達」「人材の確保・育成」「インフラの整備状況」と「ミャンマーの国内輸送体制」で、それぞれ全体の約10.0%を占めている。

表31 設問6の回答結果（上位3項目を回答）

選択肢	リスク影響度第1位		リスク影響度第2位		リスク影響度第3位	
	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)
①展開目的を明確にすること	3	10.0%	0	0.0%	1	3.3%
②展開に向けての資金調達	3	10.0%	3	10.0%	3	10.0%
③良きパートナーや人脈を得ること	2	6.7%	1	3.3%	0	0.0%
④人材の確保・育成	3	10.0%	3	10.0%	3	10.0%
⑤日本の本社と現地製造拠点とのコミュニケーション	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥賃金コスト上昇への対応	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%
⑦物流コスト上昇への対応	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%
⑧ミャンマーでの販売先の拡大	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%
⑨原材料などの調達先の確保	0	0.0%	4	13.3%	0	0.0%
⑩品質管理	1	3.3%	2	6.7%	2	6.7%
⑪代金の回収	0	0.0%	1	3.3%	1	3.3%
⑫知識やノウハウなど知的財産保護	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%
⑬工業団地の立地場所	1	3.3%	1	3.3%	1	3.3%
⑭インフラの整備状況	1	3.3%	1	3.3%	3	10.0%
⑮ミャンマーの国内輸送体制	1	3.3%	2	6.7%	3	10.0%
⑯輸出入・通関手続き	1	3.3%	2	6.7%	1	3.3%
⑰ミャンマーの規制や制度への対応	1	3.3%	3	10.0%	2	6.7%
⑱外資企業に対するミャンマー政府の方針	9	30.0%	1	3.3%	4	13.3%
無回答	4	13.3%	4	13.3%	4	13.3%
合計	30	100.0%	30	100.0%	30	100.0%

(8) 設問7. ミャンマーでのロジスティクスの課題

ミャンマーでのロジスティクスの課題で最も多い回答は、「通関業務に関する手間」で全体の約30.8%を占めている。次に多いのは、「道路ネットワークの整備状況」で全体の約20.0%を占めている。

表32 設問7の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
通関業務に関する手間	20	30.8%
道路ネットワークの整備状況	13	20.0%
現地の港でのコンテナ処理能力	12	18.5%
現地の港の開港時間	2	3.1%
輸送品質（振動・温度への対応等）	7	10.8%
物流品質（誤配荷率・誤納品率・事故率等）	8	12.3%
その他	3	4.6%
無回答	0	0.0%
合計	65	100.0%

(9) 設問8. ミャンマーでのロジスティクスにおける輸送業務

① ミャンマー国内の輸送方法

ミャンマー国内の輸送方法で最も多い回答は、「自社で輸送」で全体の約 48.6% を占めている。次に多いのは「ミャンマーローカル物流事業者に委託」で全体の約 45.7% を占めている。

表 33 設問8①の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
自社で輸送	17	48.6%
日系物流事業者に委託	2	5.7%
ミャンマーローカル物流事業者に委託	16	45.7%
無回答	0	0.0%
合計	35	100.0%

② ミャンマーからの輸出時の利用輸送手段

ミャンマーからの輸出時の利用輸送手段で最も多い回答は、「船舶」で全体の約 41.7% を占めている。次に多いのは、「トラック（ミャンマーローカル物流事業者に委託）」で全体の約 22.2% を占めている。なお、トラックは、自社で輸送、日系物流事業者に委託、ミャンマーローカル物流事業者に委託の3つの合計で約 41.6% を占めている。

表 34 設問8②の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
トラック（自社で輸送）	7	19.4%
トラック（日系物流事業者に委託）	0	0.0%
トラック（ミャンマーローカル物流事業者に委託）	8	22.2%
鉄道	0	0.0%
船舶	15	41.7%
航空機	6	16.7%
無回答	0	0.0%
合計	36	100.0%

③ ミャンマーへの輸入時の利用輸送手段

ミャンマーへの輸入時の利用輸送手段で最も多い回答は、「船舶」で全体の約 40.9% を占めている。次に多いのは、「トラック（ミャンマーローカル物流事業者に委託）」で全体の約 31.8% を占めている。なお、トラックは、自社で輸送、日系物流事業者に委託、ミャンマーローカル物流事業者に委託の3つの合計で約 45.4% を占めている。

表 35 設問8③の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
トラック（自社で輸送）	6	13.6%
トラック（日系物流事業者に委託）	0	0.0%
トラック（ミャンマーローカル物流事業者に委託）	14	31.8%
鉄道	0	0.0%
船舶	18	40.9%
航空機	6	13.6%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%

(10) 設問 9. 今後の展開先として関心のある国・地域

今後の展開先として関心のある国・地域で最も多い回答は、「タイ」で全体の約 35.4% を占めている。次に多いのは、「ミャンマー（国内）の他地域」で全体の約 25.0% を占めている。

表 36 設問 9 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
タイ	17	35.4%
ミャンマー（国内）の他地域	12	25.0%
カンボジア	2	4.2%
ベトナム	9	18.8%
ラオス	3	6.3%
日本	2	4.2%
アメリカ	1	2.1%
オーストラリア	1	2.1%
マカオ	1	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	48	100.0%

(11) 設問 10. 今後の展開先での展開形態

今後の展開先での展開形態で最も多い回答は、「現地法人として製造や販売の拠点を置く」で全体の約 36.4% を占めている。次に多いのは、「業務提携（委託加工、委託販売）」で全体の約 27.3% を占めている。

表 37 設問 10 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
部品・原材料・完成品の当該国からミャンマーへの輸入	8	18.2%
部品・原材料・完成品のミャンマーから当該国への輸出	5	11.4%
業務提携（委託加工、委託販売）	12	27.3%
現地法人として製造や販売の拠点を置く	16	36.4%
現時点では展開形態を考えていない	3	6.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%